



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



W E E K L Y R E P O R T

風に向かって、風とともに
東京六本木ロータリー・クラブ会長
2013年3月11日発行 第347号
2012-2013年度 No. 27



本日のプログラム

平成25年3月11日
夜間例会
「東日本大震災復興支援
チャリティー・コンサート」

ヴァイオリン演奏：天満 敦子 様
18:30 受付／19:00 開会点鐘

クラブからのお知らせ [3月4日]

● 松島会長挨拶

- 明日が啓蟄ですが、まだまだ寒い日が続いています。特に、北海道や日本海側では、豪雪に見舞われ苦労が続いています。一日も早く、花の便りが聞きたいものです。
- 話は飛びますが、21世紀の世界を考える場合、人口、環境問題のほか、地政学的な大変化も考慮に入れるべきではないかと思われます。一つは、シェールガス革命であり、もう一つは北極海の氷河融解に伴う北極航路の可能性です。世界のエネルギー供給基地、エネルギー価格、海運航路と船型、港湾都市の繁栄などの面で、現在予測できないような変化が生じるかもしれません。こうした長期展望に対してどのように対応していくのか、政策関係者や企業人の知見と経験がテストされるように思います。

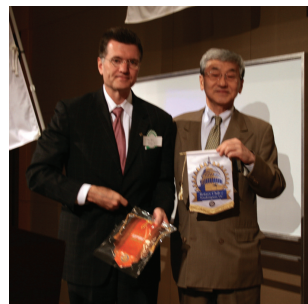
● 関口幹事報告

- 東京渋谷RCカンボジア教育支援チャリティコンサートのご案内
日 時：2013年4月26日(金) 18:30開演
会 場：青山学院ガウチャー記念礼拝堂
全席自由：7,000円
ご希望の方は事務局までお願いいたします。

● 松木親睦活動委員長より

- 来週3月11日はヴァイオリニスト天満敦子さんをお招き致しました、チャリティー夜間例会がございます。まだお申し込みでない方もいらっしゃるようですので、皆様ふるってご参加頂けますよう宜しくお願い致します。今回は華美にならずにチャリティーを行うという趣旨でございますので、沢山の方をお招き頂けますよう宜しくお願い申し上げます。
また、今回の会費は会員1万円、ビジター1万5千円にてお願いしておりますが、グランドハイアットの大橋会長の大変なご厚意によりまして、会費の3分の1をチャリティーに使う事が出来るかと思えます。是非、お一人でも多くの方にご参集頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

● ワシントンDCロータリー・クラブ、 スティーブ・アドキンス様とバナー交換





平成25年2月25日

卓話『日本とウズベキスタンの
これまでの関係と今後の展望』

ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金代表理事
バヒリディノフ・マンスール 様

今日はウズベキスタンの文化、歴史と観光的な魅力についてお話しさせていただきます。ウズベキスタンは中央アジアに位置していて人口が3千万人、首都はタシケントです。日本でウズベキスタンに行ったことのある人は0.4%しかいませんが、行ってみたいという人は47%います。それで日本でのウズベキスタンの認知率を高めることを目的に国が文化財団を作り、広報活動やイベントを通じて日本とウズベキスタンの協力関係を強化していくこととしています。

ウズベキスタンは国民の約8割がイスラム教徒で穏健派です。東京と同じように警察も治安体制もしっかりしているので、安心して観光できます。教育水準も高く、非常に紳士的な国です。ウズベキスタンは旧ソビエトの中でも世界遺産が多く集中していて、古代ギリシャやアラブ、モンゴルのチングスハンに支配された時代もあります。シルクロードの交差点としていろんな人種と文明が交差しているので、ユニークな文化ポテンシャルを持っています。それで我々は中央アジアの観光の拠点として観光立国を目指しています。ウズベキスタンは非常に親日的で、現在、中央アジアとコーカサス諸国の中では日本語学習者の数が一番多く、毎年1700人以上の学生が日本語学科を卒業して日本と関連のある仕事についています。

2012年、日本とウズベキスタンの外交関係樹立20周年を記念する催しが大々的に行われ、タシケントで平山郁夫さんの特別展が行われました。平山先生は1969年からウズベキスタンと深い関係を持っておられて、2001年、タシケントに平山郁夫キャラバンサライというギャラリーを作られ、

2002年にはタシケント名誉市民のタイトルを大統領から与えられました。タシケントにはオペラやバレエを上演する劇場があるんですが、この劇場の建設に参加したのは戦後シベリアに抑留された日本の兵

隊たちです。全部で2万5千人いらっしゃったんですけれども、その劇場をはじめウズベキスタンの各地でいろんな工場や産業施設を作りました。当時は共産党の時代で、我々ウズベク人と日本人は肩を並べていろんなものを作り、そういうつらい環境の中で友好関係がつけられたわけです。もう85とか90歳と歳を取った方たちですけれども、東北の方が多く、彼らが日本に戻って、最初の日本ウズベキスタン友好協会を福島で作ったんです。もう40年近く活動されています。そういう関係もあって非常に日本に対して深いシンパシーを持っている国です。

今、中央アジアでのファッションやスポーツなどの国際的な催しものは、多くウズベキスタンで行われます。そして2002年から週2回、日本との直行便も飛んでいます。独立して20年経たないうちに日本と航空協定を結び、直行便を始めたことは、2国間の関係の強さの証明になると思います。

是非47%のグループに、皆さんが入られることを期待しております。ご静聴ありがとうございました。





平成23年2月21日・22日 国際ロータリー第2750地区 2012-13年度地区大会

2月21～22日、国際ロータリー第2750地区の2012-13年度大会が開催されました。国際ロータリーの小沢一彦会長代理や姉妹地区である第3650地区の高成大ガバナーをはじめとする来賓をお迎えし、全体で約2,600名が参加する盛大な会合となりました。

初日の冒頭に、PBG歓迎ランチが開催されました。皆さんご承知の通り、六本木ロータリーでは、本年度からミクロネシア ポンペイにおける日本語学習を支援するため、現地の学校に教材を贈与することを決め、3月には贈呈のため、ポンペイを訪問する予定にしています。このプロジェクトは、現地の日本大使の斡旋によってスタートしたのですが、今回の歓迎ランチでは、ポンペイのロータリー・クラブのメンバーと交歓することができ、ポンペイが一層身近に感じられるようになりました。また、3月の贈呈式での再会を約束するとともに、奉仕プロジェクトについて、現地の視点からの助言をお願いしました。

翌日は、各ロータリー・クラブの紹介、各委員会報告に続いて、ガバナー・エレクトおよびガバナー・ノミニーが紹介されました。決議案が採択された後は、由紀さおり、安田祥子のコンサート、そして日高義樹氏の「これからの日米関係」と題する記念講演、と、盛り沢山のイベントを楽しんで閉幕となりました。

(記:会長 松島正之)

2012～2013年度 第9回理事会報告

【審議事項】

- ①2014年-15年度地区役員について
地区ガバナー・ノミニーより浅田会員に2014-15年度地区役員のガバナー補佐として就任して欲しい旨の要請があり、満場一致で可決確定された。
- ②ポリオ・プラスの寄附について
会員がロータリー財団に対して行う一人100\$寄附の為に日本円で支払った1万円が、為替レートにより差益を生んでいる。これをポリオ・プラスへの寄附の資金としたい旨議場に諮ったところ、満場一致で可決確定し、会員一人当たり20\$をポリオ・プラスへ寄附することとなった。
- ③会員の職業分類について
デルゴージュ会員よりご本人の職業分類がクラブの設立当初から「スウィーツ」となっていたものを、現在の実態に合致した職業分類に変更してほしい旨の申し出があり、「オーガニック食品」と変更とすることで可決確定された。
- ④新規会員の入会について
公認会計士・税理士の谷口郁夫氏の入会について、仮承認された。

【報告事項】

- ①小笠会計より四半期決算報告があり、概ね予算通りに推移している旨の報告があった。
- ②会長より過年度の当クラブの通信費の支払いに東京西ロータリー・クラブが負担すべき分が誤って含まれていたことが発覚し、東京西ロータリー・クラブから、その負担すべき金額の全額を遡って精算することに確定した旨の連絡をいただいたと報告があった。



ニコニコBOX情報

篠塚 博さん

今月は私の誕生月です。

皆様、PM2.5、黄砂、花粉と大変です。御自愛下さい。

大橋 寛治さん

早く『本当の春』が参りますことを皆様と共に祈りまして。

宇佐見 千嘉さん

本日の卓話、藪内佐斗司様、「やまとぢから」のお話を楽しみにさせていただきます。

高柳 公康さん

もう年度末です。一年は早いものですね。藪内様、本日の卓話、楽しみにしております。

マークエステル・スキャルシャフィキさん

2月23日、77・78回目、石上神宮と石清水八幡宮に拝納してきました。

松島 正之さん

まだ寒いときが続いています。大雪の北海道、東北の方のご苦労いかばかりかとお察し致します。もうすぐ、花の便りが聞かれることを願いつつ。

山本 良樹さん

藪内様、本日の話を首を長くして待っております。

渡邊 滋さん

春の暖かさもう間近ですね。

「またたきて 枯れ木の中の星は春」松木たかし

3月4日 合計 29,000円
累計 1,294,500円

次回のプログラム

平成25年3月18日

卓話『ワインの楽しみ方』

レストラン「マクシヴァン」代表ソムリエ

佐藤 陽一 様

プロフィール

1962年大阪生まれ。

料理人を目指し渡仏。ワインの楽しさに取りつかれ、帰国後はソムリエの道を選ぶ。

2005年 全日本最優秀ソムリエ

2007年 世界最優秀ソムリエコンクール日本代表

2012年 アジア最優秀ソムリエコンクール日本代表
東京マイスター受賞

カーボン・オフセット認証を取得した 地区大会

本年度の地区大会は、環境省の「被災地産J-VER等を活用したカーボン・オフセット認証取得支援に係る事業者支援事業」に採択され、ロータリー・クラブ初のカーボン・オフセットの認証を受けた「環境と被災地に貢献する」大会でした。具体的には、大会で排出される[1]主催者、参加者の移動による【二酸化炭素排出量】、[2] 宿泊、大会会場の電力使用、水道使用、紙使用、一般廃棄物からの【二酸化炭素排出量】を、岩手県から創出された被災地産J-VER (岩手県の森林吸収量取引プロジェクトが発行するクレジット)を購入することにより、削減しました。



※J-VER制度
環境省による、カーボン・オフセットを行う際に必要なクレジット (第三者が実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量)を発行・認証する制度のことです。
化石燃料の替わりに木質燃料を使用することによって削減される【二酸化炭素排出量】や、間伐や植林等による森林の【二酸化炭素吸収量】がクレジットとして発行され、二酸化炭素を排出した第三者が「お金」で取引します。

3月お誕生月の会員



渡邊 滋さん

篠塚 博さん

秋津 壽男さん

小笠 裕子さん (例会は欠席)



『今週の言葉』

「春眠暁を覚えず」

この孟浩然の五言絶句は、初めて覚えた漢詩だ。新学期的春に習ったためか、育ち盛りの中学生だったためか、朝なかなか目が覚めない、というこの詩に共鳴した。これは春の暁を歌ったものだが、春夜は「春宵一刻値千金」、江南の春は「千里鶯啼緑映紅」、いずれも平明、流暢で、春になると口ずさみたくなる傑作だ。

(松島正之会長)

3月4日の例会出席率 (暫定)

・会員の例会出席数 (出席率) 32名 (68%)
・ゲスト・ビジターの参加者数 4名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に関与します

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 松島 正之 幹事 関口 明博

広報・週報 安井 悦子
委員 長

広報・週報 渡辺 美智子
副委員 長

事務局》〒106-0031東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL:03-6721-1555 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/